

秋と言えばスポーツ。各種スポーツ競技の国内・国際大会が開催されており、熱き戦いが(▽▽)しかし、スポーツの大会を台無しにしてしまうのが、ドーピングですね。

近年では、禁止物質を含んでいると知らずに、医薬品やサプリメントを摂取したことによるドーピング違反の事例が多数報告されるようになりました。管理栄養士や栄養士には、スポーツ栄養における分野で、こういったサプリメントの適切な使用方法などの知識が求められています。責任重大ですね！



～人口知能AIを活用した栄養管理の未来～

超高齢化社会を経たAI時代。皆さん想像できますか？

すでに食事の写真から、画像を認識して自動的に栄養計算をしてくれるアプリも開発されているとの事ですが、その結果から、その人個人の栄養診断をAIが行う時代。そんな近未来がすぐそこまで来ていると言うのです。

すべての人とモノがつながり、少子高齢化、地方の過疎化、貧困の落差などの問題が克服され、希望がもてる社会になると。

医療系職種の2040年需要予想の中で、『需要が伸びる職種』に管理栄養士は9位にランクイン。しかし、『需要が減る職種』では8位に。

両方のランキングに入っている医療系職種は、管理栄養士のみ。

これは、管理栄養士が、これからまだまだ伸びる職業なのか、衰退する職業なのか、今まさに分岐点に立っていることだと推測できます。

しかし、

AIは、自分から課題や問題点を見つけられないでしょうし、話の流れや行間を読むことも出来ません。そうです、人と情動的な共感を得ることが出来ない、融通の利かない専門家ですね。

やるべき作業や条件を設定して、特定の課題だけを解決していくのみ なのです。

管理栄養士のフィールドで、今何が大変な作業で、何を改善させたいのか。

AIの発達や発展のためには、まずは現場の管理栄養士の声が必要不可欠なんですね。



糖尿病と虫歯予防

糖尿病になると、糖が多量の水分と共に尿として排出されるため、細胞では、脱水状態になります。唾液の分泌量は減り、口の乾燥や喉が渇くという症状も出てきます。その結果として、唾液での洗浄作用や殺菌作用が衰えて口の中の

環境が悪化し、むし歯や歯周病になりやすくなってしまいます。

糖尿病に罹ってしまった方も、そうでない方も、お口と歯の健康を守りましょう！

芸術の秋ですね～！

みなさんは、何をして過ごす時間が好きですか？私は実は結構本が好きなんです。

それからキルトを少々。

子供の頃はあまり読まなかった本。ですが、今、この年齢になって本から学ぶことがたくさんあります。

秋の夜長…次は何を読もうかな 小林

